



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 川崎近海汽船株式会社

コード番号 9179 URL <http://www.kawakin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井繁礼

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 高田雅彦

TEL 03-3592-5829

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,141	6.8	711	△63.8	601	△67.3	447	△63.2
23年3月期第2四半期	19,798	10.6	1,964	147.5	1,839	148.4	1,216	83.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 411百万円 (△64.5%) 23年3月期第2四半期 1,161百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	15.25	—
23年3月期第2四半期	41.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	38,072	20,786	54.6
23年3月期	37,717	20,521	54.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 20,786百万円 23年3月期 20,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	3.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,100	5.6	1,400	△47.9	1,200	△52.4	750	△50.1	25.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	29,525,000 株	23年3月期	29,525,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	165,339 株	23年3月期	165,339 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	29,359,661 株	23年3月期2Q	29,360,682 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

平成24年3月期の個別業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	6.0	1,300	△48.4	1,240	△49.4	660	△51.0	22.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	8
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
	(4) 継続企業の前提に関する注記	10
	(5) セグメント情報等	10
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
	(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災以降、国内物流網の回復による経済活動の持ち直しが期待されたものの、個人消費は依然として低迷し、企業の設備投資も伸び悩むなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

海運業界を取り巻く環境は、震災の影響に加え、米国や欧州における金融不安や景気の減退懸念に伴う急激な円高の進行や燃料油価格の高止まりが続くなど厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社の第2四半期連結累計期間の売上高は211億41百万円となり前年同期に比べて6.8%の増収となりました。営業利益は7億11百万円となり前年同期に比べて63.8%の減益、経常利益は6億1百万円となり67.3%の減益、特別利益を3億52百万円、特別損失を2億34百万円計上した結果、四半期純利益は4億47百万円となり63.2%の減益となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

「近海部門」

不定期船輸送では、新造船の供給圧力が引き続き強く、また欧米の経済不安から市況は低迷しましたが、日本向け石炭・ドロマイト等バラ積貨物輸送では年度契約を結んでいたことにより安定した輸送量を維持しました。また定期船輸送では、往航の香港・海峡地及びタイ向けで好調な鋼材需要に支えられ、輸送量は前年を上回りました。一方、復航の合板輸送においては、国内需要が低迷し、輸送量は前年同期に比べ減少しました。

同部門の売上高は81億10百万円となり前年同期に比べて14.5%の増収となりました。また、営業損益は前年同期6億69百万円の営業利益に対し、当第2四半期は26百万円の営業損失となりました。

「内航部門」

不定期船輸送では、鉄鋼、セメントメーカー向け石灰石専用船は概ね安定した輸送量を確保できました。

一方、国内のロールオンロールオフ船定期航路においては、東日本大震災の影響により釧路航路・苫小牧航路・北九州航路の各航路では、寄港地の変更を余儀なくされましたが、5月中には原航路へ復帰しました。しかしながら、主要荷主が被災し輸送量は停滞しました。

八戸／苫小牧フェリー航路でも、震災の影響により青森港を代替寄港地とする臨時運航を行いました。7月に原航路に復帰以降、トラック輸送量は、台風などの影響から稼働減となったものの、北海道からの農産物の輸送が順調であったことから輸送量は前年並みを維持することができました。乗用車及び旅客輸送では、旅客需要が低迷し前年に比べて輸送量は減少しました。

同部門の売上高は129億91百万円となり前年同期に比べて2.5%の増収となりました。また、営業利益は7億14百万円となり43.5%の減益となりました。

「その他事業部門」

当事業の主なものとしては、北海道地区における不動産賃貸業などがありますが、同部門の売上高は39百万円となり前年同期に比べて4.7%の減収となりました。また、営業利益は22百万円となり24.2%の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億55百万円増加し380億72百万円となりました。流動資産は短期貸付金の減少などにより11億28百万円減少し109億13百万円となりました。固定資産は新造船建造にともなう船舶及び建設仮勘定の増加などにより14億83百万円増加し271億59百万円となりました。

負債は前期末に比べ90百万円増加し172億85百万円となりました。流動負債は支払手形及び営業未払金の増加などにより2億12百万円増加し79億39百万円となり、固定負債は役員退職慰労引当金の減少などにより1億22百万円減少し93億46百万円となりました。

純資産は利益剰余金の増加などにより前期末に比べ2億64百万円増加し207億86百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3・第4四半期につきましては、国内景気の先行き不透明な状況や欧米の金融不安に伴う為替変動など懸念材料がありますが、最近の業績動向を踏まえ前回公表した業績予想を下記の通り修正することにいたしました。

なお第3四半期以降の前提条件は次の通りです。

為替レート：1ドル=79円（前回公表時 85円）

燃料時価格：C重油 58,000円/KL（前回公表時 60,000円/KL）

平成24年3月期通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想(A)	41,600	1,100	1,000	750	25.55
今回公表予想(B)	41,100	1,400	1,200	750	25.55
増減額(B)-(A)	△500	300	200	—	—
増減率	△1.2%	27.3%	20.0%	—	—
(参考) 前期の実績	38,904	2,689	2,523	1,502	51.16

(参考) 平成24年3月期通期個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想(A)	41,400	1,050	1,050	750	25.55
今回公表予想(B)	41,000	1,300	1,240	660	22.48
増減額(B)-(A)	△400	250	190	△90	—
増減率	△1.0%	23.8%	18.1%	△12.0%	—
(参考) 前期の実績	38,684	2,518	2,448	1,345	45.84

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	779,692	1,033,541
受取手形及び営業未収入金	3,602,251	5,191,047
原材料及び貯蔵品	881,810	730,067
短期貸付金	5,560,000	2,713,000
その他	1,228,214	1,257,990
貸倒引当金	△10,037	△12,400
流動資産合計	12,041,933	10,913,246
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	22,018,871	22,357,446
土地	1,080,560	1,051,895
建設仮勘定	911,781	1,854,980
その他(純額)	594,283	587,352
有形固定資産合計	24,605,496	25,851,674
無形固定資産	136,556	117,209
投資その他の資産	933,389	1,190,456
固定資産合計	25,675,442	27,159,340
資産合計	37,717,375	38,072,587
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,004,812	3,600,702
短期借入金	2,630,499	2,641,679
未払法人税等	798,772	186,993
賞与引当金	177,885	174,274
役員賞与引当金	44,000	22,000
災害損失引当金	4,770	1,523
その他	1,065,850	1,311,932
流動負債合計	7,726,588	7,939,106
固定負債		
長期借入金	7,978,164	8,010,484
退職給付引当金	102,898	113,182
役員退職慰労引当金	600,322	373,500
特別修繕引当金	406,640	415,610
その他	380,975	433,980
固定負債合計	9,469,001	9,346,757
負債合計	17,195,589	17,285,863

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,849
利益剰余金	17,467,033	17,768,022
自己株式	△27,422	△27,422
株主資本合計	21,057,110	21,358,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,298	39,106
繰延ヘッジ損益	△7,299	△4,164
土地再評価差額金	△600,145	△600,145
為替換算調整勘定	△8,177	△6,172
その他の包括利益累計額合計	△535,324	△571,375
純資産合計	20,521,785	20,786,723
負債純資産合計	37,717,375	38,072,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	19,798,228	21,141,614
売上原価	16,051,740	18,631,138
売上総利益	3,746,487	2,510,475
販売費及び一般管理費	1,781,797	1,799,160
営業利益	1,964,690	711,315
営業外収益		
受取利息	14,840	9,434
受取配当金	14,838	12,566
その他	14,415	9,138
営業外収益合計	44,094	31,139
営業外費用		
支払利息	91,798	72,281
為替差損	66,180	52,849
その他	11,077	16,010
営業外費用合計	169,056	141,141
経常利益	1,839,728	601,314
特別利益		
固定資産売却益	186,462	—
貸倒引当金戻入額	—	352,700
特別利益合計	186,462	352,700
特別損失		
減損損失	—	184,759
投資有価証券評価損	—	50,239
特別損失合計	—	234,999
税金等調整前四半期純利益	2,026,190	719,014
法人税、住民税及び事業税	823,811	137,054
法人税等調整額	△14,016	134,172
法人税等合計	809,794	271,227
少数株主損益調整前四半期純利益	1,216,395	447,787
四半期純利益	1,216,395	447,787

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,216,395	447,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,126	△41,191
繰延ヘッジ損益	7,088	3,135
為替換算調整勘定	△2,157	2,004
その他の包括利益合計	△55,195	△36,051
四半期包括利益	1,161,199	411,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,161,199	411,736
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,026,190	719,014
減価償却費	1,460,021	1,542,287
減損損失	—	184,759
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	—	50,239
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,097	△350,414
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,071	△3,610
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,000	△22,000
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△3,246
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,357	△33,637
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△79,414	△226,822
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△4,916	8,969
受取利息及び受取配当金	△29,679	△22,000
支払利息	91,798	72,281
為替差損益(△は益)	58,223	27,193
有形固定資産売却損益(△は益)	△186,462	—
売上債権の増減額(△は増加)	△129,405	△1,596,062
たな卸資産の増減額(△は増加)	68,314	156,132
仕入債務の増減額(△は減少)	326,108	573,331
その他	47,992	100,962
小計	3,620,440	1,177,376
利息及び配当金の受取額	27,908	25,686
利息の支払額	△94,721	△75,132
法人税等の支払額	△191,656	△778,713
法人税等の還付額	209,966	124,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,571,937	474,206
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,061,394	△2,981,292
有形固定資産の売却による収入	467,195	29,988
その他	△26,400	12,589
投資活動によるキャッシュ・フロー	△620,600	△2,938,714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	25,000	△25,000
長期借入れによる収入	—	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,639,641	△1,331,499
配当金の支払額	△117,911	△146,884
自己株式の取得による支出	△473	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,733,026	△103,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60,109	△25,259
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,158,200	△2,593,151
現金及び現金同等物の期首残高	4,992,697	6,339,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,150,898	3,746,541

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,080,941	12,675,675	41,611	19,798,228	—	19,798,228
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,080,941	12,675,675	41,611	19,798,228	—	19,798,228
セグメント利益	669,275	1,265,949	29,465	1,964,690	—	1,964,690

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,964,690
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,964,690

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,110,224	12,991,724	39,665	21,141,614	—	21,141,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,110,224	12,991,724	39,665	21,141,614	—	21,141,614
セグメント利益	△26,021	714,995	22,341	711,315	—	711,315

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	711,315
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	711,315

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	近海部門	内航部門(注)	その他事業部門	計			
減損損失	—	184,759	—	184,759	—	—	184,759

(注) 売却予定資産に係るものであります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。